

適切な救命処置で人命救助

3月29日、笠間市役所において、人命救助による消防協力者表彰が行われました。

表彰を受けたのは武藤 愛さん（旭町）。

笠間市中央1丁目地内の飲食店で、女性が食べ物をのどに詰まらせ意識不明の状態に陥ったところを、同店に勤務する武藤さんが口腔内の異物を取り除き気道を確保した上で、人工呼吸と胸骨圧迫を行ったものです。

救急隊が病院へ搬送した後に、女性は会話が出来る状態まで回復しました。

一刻を争う現場で、迅速かつ的確な救命処置を実施したことで、一人の尊い命が救われました。

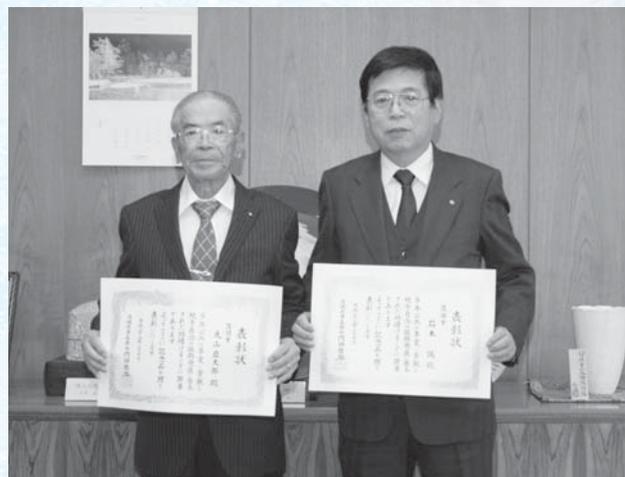


感謝状を手にする武藤さん（左）

民間自治功労者表彰が行われました

2月10日、水戸市にある茨城県市町村会館で県市長会主催の民間自治功労者表彰式が行われ、笠間市からは、石本 誠さん、丸山 岩太郎さんが表彰を受けました。

石本さんは長年にわたり笠間市嘱託医を務め、合併後の初代笠間市医師会長として地域医療に貢献、丸山さんはシルバー人材センターの理事長として3市町のシルバー人材センターを統合、また市民交流事業のリーダーとして尽力した功績が認められたものです。



表彰状を手にする丸山さん（左）、石本さん（右）

最新型の高規格救急車が寄贈されました

この度、全国共済農業協同組合連合会茨城県本部から同団体が行っている「地域の安全・安心プロジェクト」の一環として、笠間市へ最新型の高規格救急車が寄贈されました。

寄贈に伴い、去る2月18日、笠間市消防本部において受納式を行いました。

受納式には関係者約70名が参加し、全国共済農業協同組合連合会茨城県本部 市野沢 弘 運営委員会会長から山口市長へ救急車のマスコットキーが手渡され、山口市長からは同団体の功績をたたえ感謝状を贈呈、市野沢会長、山口市長および来賓の方々による挨拶の後、救急隊員によるデモンストレーションを実施しました。

今回寄贈された救急車は、7人乗りの高規格救急車で、救急救命士が車内で高度な救命処置を行いながら患者を搬送できる車両です。式典終了後、友部消防署へ配備しました。

なお、笠間市消防本部では、管内に5台の救急車を配備していますが、今回の寄贈を受け、5台中4台が高規格救急車となりました。



市野沢会長（右側）からマスコットキーを受け取る山口市長

中田英寿さん企画陶芸展を開催

2月23日夕方、茨城県陶芸美術館の特別展「REVALUE NIPPON PROJECT—中田英寿、現代陶芸と出会う」に元プロサッカー選手の中田英寿さんが訪れました。会場には多くの一般入館者もいましたが、中田さんの突然の訪問に驚いていました。

この展覧会では、現在最も注目を浴びている国内屈指の若手陶芸家と国内外で活躍するクリエイターによる5組のコラボレーション作品など約60点が展示されました。



作品を鑑賞する中田英寿さん

いばらきデザイン セレクション巡り@笠間

3月1日から「いばらきデザインセレクション巡り@笠間」が、「回廊ギャラリー門」などで開催されました。

県は、優れたデザインを持つ工業製品や工芸品、食品、建築などを「いばらきデザインセレクション」として選んでおり、昨年、「回廊ギャラリー門」が審査員奨励に選ばれました。それを機に、民間の陶芸ギャラリーと笠間市、茨城県の3施設が連携することとなりました。

「回廊ギャラリー門」は、築300年の梁材を基調とした白壁の回廊型建築、半屋外の自然光を生かして笠間焼を展示しています。

「回廊ギャラリー門」「笠間工芸の丘」「県窯業指導所」の3施設で、「いばらきデザインセレクション」の選定品を販売しています。



回廊ギャラリー門

ま ち の 話 題

こころに響いた透明な音色

2月21日、南中学校と稲田中学校で青少年育成笠間地区市民会議（会長 中根勝吉さん）による音楽観賞教室が開催されました。

演奏してくれたのは寺沢希美さん（ヴァイオリン）と河地恵理子さん（ピアノ）。クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさまでもおなじみで息もぴったりの2人が、エルガーの「愛のあいさつ」や、プッチーニのオペラ、トゥーランドットから「誰も寝てはならぬ」、フォスターの「トゥーラブユーモア」などを演奏しました。

ヴァイオリンの説明やおしゃべり、生徒からの質問にこたえるなど、終始楽しい雰囲気でのコンサートでしたが、2人のプロの演奏に触れると、会場の生徒たちは目を潤ませて聞き入っていました。



南中学校音楽室での演奏の様子